

## 令和4年度に実施した主な事業

・新庁舎建設事業（設計業務、移転に伴う改修工事など）  
 ≪ 2億215万円 ≫



新庁舎（イメージ図）

・市立幼稚園の保育室にエアコンを整備 ≪ 6063万円 ≫



### ◆その他実施事業一覧

事業内容	費用
公立保育園のICT化	1411万円
一時預かり保育のお試しチケットを導入	61万円
新型コロナウイルスワクチンの接種	7億5489万円
（仮称）多文化共生・人権プラザの整備（令和5年度完成）	7065万円
小中学校の余裕教室を活用した地域総合拠点 MINAYORU の整備	1140万円
若者会議提案事業の実施	502万円
物価高騰対策として水道基本料金を減免	3億858万円

・地域経済活性化のためキャッシュレス決済消費喚起事業を実施  
 ≪ 4億9979万円 ≫

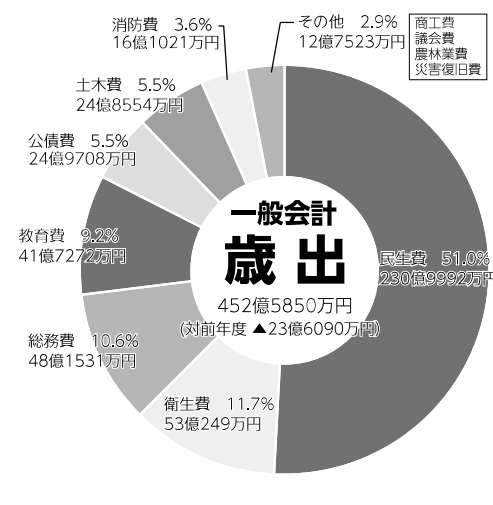


## 健全化判断比率は引き続き、健全な状態を維持

### ■本市の令和4年度健全化判断比率

指標	本市比率	早期健全化基準 ※4
実質赤字比率 一般会計などの赤字の割合を示した指標	※1	12.13%
連結実質赤字比率 国民健康保険などの公営事業会計も含めた赤字の割合を示した指標	※1	17.13%
実質公債費比率 市債（市の借入）の償還による財政負担の度合いを示した指標	-1.0% ※2	25.0%
将来負担比率 自治体が標準的な行政活動を行うために必要な一般財源総量に対する将来的な負担（市債などの借入残高）の割合を示した指標	※3	350.0%

※1 全会計の実質収支の合計で赤字が発生しておらず数値がないため、「-」表記。  
 ※2 令和2年度～令和4年度の3カ年平均の数値。  
 ※3 将来の負担が発生していないため、「-」表記。  
 ※4 この数値を上回ると、法的に財政の健全化に取り組みなければならないと国が定めている基準。



固財政課（内線335）

家計における収入・支出・借金・貯金にあたる、歳入・歳出・市債・基金の状況など、令和4年度一般会計の決算についてお知らせします。

## 単年度収支は引き続き黒字

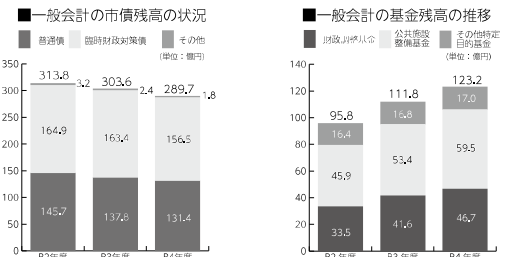
# 令和4年度決算報告

## ■市民一人あたりに計算すると

令和4年度の一般会計決算を、今年3月31日現在の住民基本台帳人口に基づき、市民1人当たりの額に換算すると下表のとおりになります（目的別の額）。

民生費	衛生費	総務費	教育費
214,452円	49,227円	44,704円	38,738円
公債費	土木費	消防費	商工費
23,182円	23,075円	14,949円	6,057円
議会費	農林業費	災害復旧費	合計
2,866円	2,857円	58円	420,165円

## 市債残高は減少、基金残高は増加



### ※用語チェック!

市債 国や金融機関から借り入れたお金

基金 公共施設の建て替えなど、決められた目的で使うために積み立てているお金

実質収支 歳入歳出の差引額から翌年度へ繰越すべき財源を除いた収支額

## 財政状況を「見える化」した資料を公表しています

本市の財政状況を表す数値や指標を、図表などを用いてわかりやすく解説した資料を令和3年度決算分まで公表しています。地方会計制度に基づく財務書類とあわせて、市ウェブサイト（財政課のページ）でご覧いただけます。なお、令和4年度決算の「見える化」資料と財務書類についても、作成次第、市ウェブサイトにて公表します。

## ■会計別歳入歳出決算状況

区分	歳入	歳出	差し引き	繰り越し	実質収支
一般会計	4,642,151	4,525,850	116,301	20,714	95,587
財産区	4,449	4,449	0	0	0
特別会計					
国民健康保険事業	1,251,141	1,224,150	26,991	0	26,991
介護保険事業	1,182,161	1,168,802	13,359	0	13,359
後期高齢者医療事業	218,342	211,939	6,403	0	6,403
南河内広域行政共同処理事業	15,293	14,546	747	0	747
計	2,671,386	2,623,886	47,500	0	47,500
合計	7,313,537	7,149,736	163,801	20,714	143,087